

武中の風



<発行>
鹿児島市立
武中学校
鹿児島市武 3-42-1

友だちがいなくて悩んでいる人へ

校長 前田 浩二

九月に全校朝会で話したことを書きます。

「ワンピース」というマンガが大人気で、世界中の人に読まれています。主人公のルフィが海賊王になるという夢を追いかけ、仲間とともに冒険の旅をする物語です。ルフィと仲間たちの命がけでお互いを助け合うほど固く結ばれた友情や信頼関係に私もいつも感動し、こんな仲間が自分にもいたらいいなと思いつつ読んでいます。

しかし、現実を目を移すと、私には自分の命をかけられるほどの仲間はできそうにありません。仲間を親友と置き換えてみても、親友のために命をかけるられるかと問われれば、難しいとしか答えられません。他の人も同じような感じではないでしょうか。

ところが、マンガと同様に映画やドラマでも命がけの友情を扱った作品があふれているため、そのような親友をもっていないといけないというように強迫観念に囚われている中学生はいないかと心配です。親友がいなくても自分は大丈夫と悩んでいないでしょうか。命

をかけられるほどの親友ができるかどうかはわかりませんが、今、自分には友だちがいなくて悩んでいる人も、

気の合う友だちには、無理しなくても、きつと出会う時が来ます。なぜなら、人生は出会いの連続だからです。出会った人の中には必ず気の合う人がいます。だから心配いりません。それよりも、今培っておかなければならないのは、一人でもやっていける強さだと思います。

自分自身を振り返ると、小学校で二回転校しました。転校先に知り合っていないので、一人からのスタートです。中学校入学時は、多少友だちもいましたが、高校や大学では、一人からのスタートです。大人になっても、福岡県からたつた一人で鹿児島県へやってきましたし、転勤と引っ越しを九回繰り返した、そのたびに一人からスタートしました。しかし、行く先々で気の合う友だちができました。みなさんの周りの大人も同じような生き方をしてきたことと思います。

今、友だちがいなくて悩んでいる人は、実は一人でもやっていける強さを身に付けているときなのかもしれません。その強さはこれからの人生を生き抜く上でとても大事なものです。そして、ひよっとしたら明日、ふとしたきっかけで、気の合う人を見つかるかもしれません。だから、一人に

なることを恐れず、新しい出会いを楽しみに新天地へ飛び込んでほしいと思います。気の合う友だちが、きつと、あなたのことを待っています。

燃ゆる感動がごしま国体

十月七日に燃ゆる感動がごしま国体（特別国民体育大会）の総合開会式が行なわれ、本校の二・三年生が「都道府県応援団」として参加しました。生徒たちは、各都道府県の役員・選手団の行進が武中の応援席の前に来るたびに「キバレ〇〇県！」と大きな声を出してバールン棒をたたきながら応援しました。どの都道府県の選手たちも旗や手を振って応援に答えてくれました。昭和四七年から五一年ぶり鹿児島で開催された国体に参加できたことは、生徒たちにとってすばらしい思い出になりました。



第七十八期新生徒会選挙

十月十三日に生徒会立会演説会と投票が行なわれました。投票日前日まで、立候補した生徒と立会演説者は朝のあいさつ運動や給食の放送で公約等の説明を行ないました。当日は、体育館で演説会を行い、各学級で投票しました。どの候補者も、よりよい武中にする公約を堂々と述べていきました。新生徒会を盛り上げて、新しい武中の歴史をつくってこれると確信しました。



部活動についてのお知らせ

本校では、「鹿児島市立学校における業務改善アクションプラン」に基づいて月一回（毎月二日）定時退校日を設定して二学期から取り組んでいます。この日は部活動が原則休みにになりますのでご理解ご協力をお願いいたします。